

平成30年度 愛媛大学出張講義テーマ一覧

農学部

講義番号	教員氏名	講義テーマ
1	荒木 卓哉	作物生産と肥料との関係ーとくに窒素に注目してー
2	吉 富 博之	新種はこうして発見されるー昆虫の新種発見についてー
3	吉 富 博之	生物多様性を守るには？
4	小 林 括平	植物とウイルスの終わりなき戦い
5	小 林 括平	「遺伝子組換え××」は、お♥好♥き♥？
6	上 野 秀人	土から見える食糧生産と農業・環境の問題
7	垣原 登志子	覚えてほしい！食の知識 食品表示・栄養表示と中食の利用法
8	羽 生 剛	DNAの配列を読み解く
9	羽 藤 堅治	植物工場におけるハイク食料生産について ー植物と対話するにはー
10	仁 科 弘重	人間と植物の新たな関係を考える ーグリーンアメニティから園芸療法・屋上緑化までー
11	仁 科 弘重	植物の話を聞いて栽培をしよう ーSpeaking Plant Approachー
12	仁 科 弘重	植物工場による企業の植物生産 ー東京ドームより大きいガラス温室でのトマト生産ー
13	野 並 浩	ソフトイオン化質量分析
14	板 橋 衛	農業生産力の発展と土地利用
15	山 内 聡	生物資源の有効利用のための、有機化学的アプローチ
16	岸 田 太郎	非栄養素の栄養学
17	渡 部 保夫	遺伝子組換え植物のいろいろ
18	渡 部 保夫	愛媛県地産品はだか麦の機能性
19	秋 田 充	生命科学における蛋白質の役割
20	菅 原 卓也	食べて健康になる方法ー食品の機能性についてー
21	菅 原 卓也	ミカンの健康効果ー大学の研究成果を活用した機能性食品開発ー
22	阿 野 嘉孝	未来を創る小さな巨人ー微生物の力を化学するー
23	伊 藤 和貴	樹木はなぜ千年生きることができるのか？
24	伊 藤 和貴	地球温暖化と循環型社会
25	伊 藤 和貴	暮らしと環境問題
26	二 宮 生夫	なぜ木は背が高いのか？
27	杉 森 正敏	森・木・家
28	小 林 範之	ため池の健康診断
29	泉 智 揮	地域環境工学入門ー農業と水資源ー
30	泉 智 揮	地域環境工学入門ー流れのシミュレーションー
31	久 米 崇	超学際的アプローチと地域環境知による乾燥地域における節水かんがい技術の開発
32	竹 内 一郎	浅海域生態系の環境保全について
33	高 木 基裕	希少魚の保全について
34	三 浦 猛	先端生命科学による水産養殖技術開発
35	鈴 木 聡	地球を創り、環境を守る微生物

農 学 部

農学部ではコースにより取り扱う専門領域が大きく異なります。したがって、一つの出張講義だけでは、学科・コースの全体像を理解するのが難しいと考えられます。そこで、農学部としては、原則として出張講義と学部説明会を分けた形で実施したいと考えています。詳細は必要に応じて、日程決定後に担当の先生とご相談申し上げます。

□ No.1

講義テーマ／担当教員

作物生産と肥料との関係 –とくに窒素に注目して–

食料生産学科農業生産学コース 荒木 卓哉

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

窒素は生命活動において欠かせない元素です。また、植物の窒素吸収量と収量は密接に関係しているとともに、葉に蓄積された窒素の約50%は光合成に関わる物質として利用されています。しかし、窒素を肥料として多く投入すると、土壌への残留窒素に伴う環境負荷の増加が懸念されています。そこで持続可能な農業体系構築の一方策として、窒素施用量節減が挙げられます。本講義では、窒素施用量の減少が光合成能力へ及ぼす影響について光合成の仕組みを説明しながら紹介します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No.2

講義テーマ／担当教員

新種はこうして発見される –昆虫の新種発見について–

食料生産学科農業生産学コース 吉富 博之

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

日本には10万種の昆虫類が生息していると想定されていますが、現在までに知られている昆虫類の種数は約3万種。そしてその残りは未発見の「新種」と考えられています。新種はどのようにして発見されるのか、生物分類学とはどういうものかを含め紹介します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 3

講義テーマ／担当教員

生物多様性を守るには？

食料生産学科農業生産学コース 吉富 博之

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

生物多様性とその保全については、重要性が叫ばれているものの、通常の生活をしていく上では実感が湧かないのも事実です。そこで生物多様性とはどんなものか、身近に我々ができることは何かないのか、についてお話します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 4

講義テーマ／担当教員

植物とウイルスの終わりなき戦い

食料生産学科農業生産学コース 小林 括平

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

私たちが風邪をひいたり下痢をしたりするのと同じように、植物も病気になります。病気の原因には様々なものがありますが、特に厄介なのが効く薬の無いウイルスです。植物はウイルスから身を守るための武器を進化の過程で獲得してきましたが、ウイルスの方も負けじと進化して植物を攻撃します。植物とウイルスが繰り広げる戦いを通して植物分子生物学の最先端を垣間見てもらいます。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン、マイク設備（通常の教室より広い場合）

□ No. 5

講義テーマ／担当教員

「遺伝子組換え ××」は、お♡好♡き♡？

食料生産学科農業生産学コース 小林 括平

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

スーパーマーケットなどで売られている豆腐や納豆の原材料欄を見たことはありますか？ほとんどすべての製品で、「大豆（遺伝子組換えではない）」と書かれています。「なぜ、わざわざ『・・・ではない』って書いているの？遺伝子組換え大豆って好くないものなの？」そんな心配をする人がいてもおかしくありませんが、本当のところはどうなのでしょう。それを考えるためのヒントをお教えしましょう。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン、マイク設備（通常の教室より広い場合）

□ No. 6

講義テーマ／担当教員

土から見える食糧生産と農業・環境の問題

食料生産学科農業生産学コース 上野 秀人

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 60人程度

日本と世界の食糧生産の現状
世界の農耕地で起きている問題
農業と環境の関わり
食の安全性について
質疑応答

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, スクリーン, 電源コード

□ No. 7

講義テーマ／担当教員

覚えてほしい!食の知識 食品表示・栄養表示と中食の利用法

食料生産学科農業生産学コース 垣原 登志子

講義時間／受講人数

講義時間 希望により対応可能

受講人数 制限なし。
但し、受講者数により
講義方法は変更します。

現在, 食にかかわる様々な問題(食品偽装, 表示, 栄養バランス, 「こ」食等)が発生しています。1人暮らしを始める前に, 覚えておくと役立つ情報を紹介するとともに, 健康維持のための食について考えたいと思います。
(食育サットシステムの使用も可)

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, スクリーン, 電源コード, 長机

□ No. 8

講義テーマ／担当教員

DNA の配列を読み解く

食料生産学科農業生産学コース 羽生 剛

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 上限40人

遺伝子の情報は細胞の核の中にある染色体を構成するDNA(デオキシリボ核酸)に記されています。DNAには構成する塩基によりアデニン(A), チミン(T), シトシン(C), グアニン(G)の4種類がありますが, 全ての遺伝子の情報はこの4種類の並び方によって決まります。本講義では, DNAの配列からどのようなことがわかるかを最新のDNA解析技術などを通してお話します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, スクリーン

□ No. 9

講義テーマ／担当教員

植物工場におけるハイテク食料生産について

ー植物と対話するにはー

食料生産学科植物工場システム学コース 羽藤 堅治

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 特にもうけないが、事前に人数を教えて欲しい。

ヨーロッパやカナダを中心に世界各地で行われているハイテク技術を用いた食料生産技術である植物工場について概要を紹介・説明します。特に言葉を発することのできない植物との対話を行うためのスピーキング・プラント・アプローチ (SPA) について講義します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン、大人数の場合はマイク

□ No. 10

講義テーマ／担当教員

人間と植物の新たな関係を考える ーグリーンアメニティから園芸療法・屋上緑化までー

食料生産学科植物工場システム学コース 仁科 弘重

講義時間／受講人数

講義時間 50分 (応相談)

受講人数 制限なし

室内に植物を置くことによって居住者の快適性を向上させようとする「グリーンアメニティ」の様々な効果について、現在得られている知見を紹介します。また、高齢化社会を迎え今後ますます必要になるとされる「園芸療法」についても、心理的側面を中心に紹介します。さらに、地球温暖化や都市部のヒートアイランド現象の点から注目されている「屋上緑化」の効果についても紹介します。これらの知見を通して、人間と植物の新たな関係を考えます。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 11

講義テーマ／担当教員

植物の話を聞いて栽培をしよう

ー Speaking Plant Approach ー

食料生産学科植物工場システム学コース 仁科 弘重

講義時間／受講人数

講義時間 50分 (応相談)

受講人数 制限なし

実際に植物から話を聞くのは不可能であるが、あたかも植物から話を聞くように、植物が発している情報を様々なセンサーによって測定し、植物の状態を診断します。さらに、その診断結果に基づいて栽培環境を変化させることによって、より高品質な農作物を得ることができます。このような考え方を、Speaking Plant Approach (スピーキング・プラント・アプローチ) といい、植物生産における最先端の考え方の一つです。ここでは甘い (糖度が高い) トマトの栽培にSpeaking Plant Approachを適用した例について述べます。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No.12

講義テーマ／担当教員

植物工場による企業の植物生産 ー東京ドームより大きいガラス温室でのトマト生産ー

食料生産学科植物工場システム学コース 仁科 弘重

講義時間／受講人数

講義時間 50分（応相談）

受講人数 制限なし

最近,わが国でも, 東京ドームより大きい数ヘクタール規模のトマト生産温室が増えています。そこでは, 1年間に10カ月間もトマトの収穫が可能であり, トマトの茎の長さは15mにもなります。また, 収穫量は, 温室内をトマトの栽培に適した環境に制御することによって, 露地栽培の2～3倍にもなります。収穫や管理の作業に多くの人々が働くことになり, 雇用の創出にも貢献できます。このような植物工場による企業の植物生産が, わが国の農業にインパクトを与え始めています。ここでは, 植物工場の実際を, 写真を中心に紹介します。また, 2008年に愛媛大学農学部構内に設置された「太陽光利用型知的植物工場」も紹介します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, スクリーン

□ No.13

講義テーマ／担当教員

ソフトイオン化質量分析

食料生産学科植物工場システム学コース 野並 浩

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

2002年度のノーベル化学賞がソフトイオン化に基づく質量分析への貢献で田中耕一氏に授与されたことは良く知られています。当該研究室は平成5年から島津のグループと共同研究を行っており, 田中氏も研究室を訪問していて, 現在当該研究室出身の学生は田中耕一記念質量分析研究所で研究員として働いています。どのようにマトリックスと呼ばれる有機化合物にレーザーのエネルギーを吸収させ, 生体高分子を破壊することなくイオン化し, 分子量が計測できるか, やさしく解説し, 農学的な応用についても触れます。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, スクリーン

□ No.14

講義テーマ／担当教員

農業生産力の発展と土地利用

食料生産学科食料生産経営学コース 板橋 衛

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 上限40人

農業生産力の要素には労働生産性と土地生産性がありますが, そのバランスよい発展が必要です。そのためには土地（農地）への投資が重要で, 土地（農地）利用にも様々な工夫がみられます。ここでは, 農業経営の視点からこの問題について考えます。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, スクリーン

□ No.15

講義テーマ／担当教員		講義時間／受講人数	
生物資源の有効利用のための，有機化学的アプローチ		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
生命機能学科応用生命化学コース 山内 聡			
未利用生物資源を有効に利用するための化学的根拠を示すための，有機化学的研究手法を紹介します。例えば，鏡像異性体の一方を作り分け，その機能を調べる等です。			
☐ 実施校において準備して欲しいもの 黒板			

□ No.16

講義テーマ／担当教員		講義時間／受講人数	
非栄養素の栄養学		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
生命機能学科応用生命化学コース 岸田 太郎			
食物の中にはタンパク質，脂質，糖質，ビタミン，ミネラルなどヒトが生きていくうえで必須な栄養素以外にいろいろなものが含まれています。必須栄養素以外のものの中（たとえば食物繊維，カテキンなど）には栄養素では達することのできない栄養効果（生活習慣病の予防など）のあることが分かり，それらの生理効果の検討が行われています。講義では，非栄養素の持つ栄養学的役割について，作用機構をも含めて解説します。			
☐ 実施校において準備して欲しいもの プロジェクター，スクリーン			

□ No.17

講義テーマ／担当教員		講義時間／受講人数	
遺伝子組換え植物のいろいろ		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
生命機能学科応用生命化学コース 渡部 保夫			
農学部応用生命化学コースについて概略を説明した後，「蛍の光と遺伝子組換え」から話をはじめて，「遺伝子（ゲノム，DNA）とは」，「遺伝子組換えの原理と遺伝子組換え植物の作製法」について講義します。現在作製されている「遺伝子組換え植物の実例」を紹介した後，「遺伝子組換え植物の安全論議」について説明することで「遺伝子組換え技術の有効性や安全性」が理解できることを目的とします。最後に，「遺伝子組換え植物，食品の現状」を述べます。			
☐ 実施校において準備して欲しいもの プロジェクター，スクリーン			

□ No.18

講義テーマ／担当教員

愛媛県地産品はだか麦の機能性

生命機能学科応用生命化学コース 渡部 保夫

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

愛媛県は日本一のはだか麦の生産地であるが、はだか麦を含めた大麦がもつ機能性についての認知度は高くありません。はだか麦はデンプン質に非常に多くの食物繊維（βグルカン）を含んでいます。それは大麦の胚乳の細胞壁構造が分厚く強固であることによります。はだか麦のデンプンを摂取することで無理なく食物繊維をとることができます。別に、はだか麦の一種、もち麦を用いるとギャバという高機能性アミノ酸も製造できます。愛媛県のはだか麦の特徴と一緒に概説します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No.19

講義テーマ／担当教員

生命科学における蛋白質の役割

生命機能学科応用生命化学コース 秋田 充

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

蛋白質は、栄養素ととらえられがちかもしれませんが、DNAから始まる遺伝情報の流れの最終産物であり、生命を維持する上で、必要不可欠です。本講義においては、蛋白質とは何かについて、蛋白質の基本単位であるアミノ酸の解説からはじまって、実際の蛋白質の生物の内部における役割、さらには、自分の研究について解説します。講義の性格上、高校で学ぶ範囲を超えた内容の話も含まれますが、生命科学を将来目指そうとしている意欲的な生徒の参加を求めます。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No.20

講義テーマ／担当教員

食べて健康になる方法 –食品の機能性について–

生命機能学科健康機能栄養科学特別コース 菅原 卓也

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

特定保健用食品（トクホ）に代表されるように、食品には我々の健康を保つための様々な機能性成分を含んでいます。本講義では、機能性食品や健康食品の概略を解説したのち、食品中に含まれる様々な機能性成分の検索や、その生理作用の解明に関する研究など、機能性食品の開発を目的として行われている基礎研究の一端を紹介します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 21

講義テーマ／担当教員

ミカンの健康効果

～大学の研究成果を活用した機能性食品開発～

生命機能学科健康機能栄養科学特別コース 菅原 卓也

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

柑橘には、様々な健康効果を持つ成分が含まれています。その中の一つにノビレチンという成分があります。ノビレチンは、花粉症やアトピー性皮膚炎などのアレルギー症状を緩和する効果を持つことが我々の研究の結果から明らかになりました。本講義では、ノビレチンの抗アレルギー効果の解明に関する研究の内容や、柑橘を活用したアレルギー症状緩和効果のある機能性食品の開発について紹介します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 22

講義テーマ／担当教員

未来を創る小さな巨人

～微生物の力を化学する～

生命機能学科応用生命科学コース 阿野 嘉孝

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

私たちは、肉眼で見ることでできない微生物が身の回りに存在していることを知っています。人類は「彼ら」の存在をどのようにして認識したのでしょうか？また、人類は「彼ら」をいつ頃から自在に操ってきたのでしょうか？今、人類は未来のために「彼ら」の力を化学的に見直し利用しようとしています。本講義では、微生物の力と私たちの暮らしの関わりについて紹介します。

□実施校において準備して欲しいもの

例：プロジェクター、スクリーン

□ No. 23

講義テーマ／担当教員

樹木はなぜ千年生きることができるのか？

生物環境学科森林資源学コース 伊藤 和貴

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

樹木は地球上で最も長生きのできる植物です。「樹木はなぜ長生きできるのでしょうか？」そこには、樹木が持つ自然の力が秘められています。樹木を科学しながら、その秘密を解いていきます。そして、樹木と環境について考えていきます。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 24

講義テーマ／担当教員

地球温暖化と循環型社会

生物環境学科森林資源学コース 伊藤 和貴

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

地球温暖化は刻々と私たちの身の回りに迫ってきています。地球温暖化対策として私たちは何をしたらよいのでしょうか。地球温暖化を止めることはできるのでしょうか。地球温暖化対策の一つにエネルギー問題があります。化石燃料をバイオマスエネルギーに代替しようとする技術が開発されています。木質バイオマスの利用と循環型システムについてお話ししたいと思います。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, スクリーン

□ No. 25

講義テーマ／担当教員

暮らしと環境問題

生物環境学科森林資源学コース 伊藤 和貴

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

地球環境問題は人間の生活活動から発生するものであり、地球環境問題は個人から世界という全ての場面で取り組まなければなりません。地球環境問題、何がどのように問題なのでしょうか？身近な暮らしと環境問題について、私たちは環境を守るために何が出来るのでしょうか。持続可能な、循環型社会を作るために何が出来るのか、私たちのライフスタイルから考えてみましょう。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, スクリーン

□ No. 26

講義テーマ／担当教員

なぜ木は背が高いのか？

生物環境学科森林資源学コース 二宮 生夫

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 特に制限なしですが
少人数が望ましい。

「なぜ木は背が高いのか？」について、植物形態学、植物生理学、植物生態学から解き明かし、環境に対する植物の生存戦略と植物進化の過程を考えます。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター, OHP, スクリーン

□ No.27

講義テーマ／担当教員		講義時間／受講人数	
森・木・家		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
生物環境学科森林資源学コース 杉森 正敏			
森を伐採することは自然破壊につながっている人が多いと思います。一方で、身の回りの空間に木が使われていると気持ちが良いと感じている人もたくさんいます。このような森林からの恵みである木を使った居住空間について考えます。			
□実施校において準備して欲しいもの プロジェクター、スクリーン			

□ No.28

講義テーマ／担当教員		講義時間／受講人数	
ため池の健康診断		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
生物環境学科地域環境工学コース 小林 範之			
全国にため池は約21万個あり、その75%は100歳を越える「高齢者」です。補修・改修といった「治療」をしてあげないと「長生き」できません。しかしながら、「治療」をするにも、どこが悪いのか自分で話すことができないので、私たち人間が注意深く「健康診断」してあげる必要があります。 本講義では、ため池の必要性をわかってもらうとともに、様々な「健康診断」の方法を紹介します。			
□実施校において準備して欲しいもの プロジェクター、スクリーン			

□ No.29

講義テーマ／担当教員		講義時間／受講人数	
地域環境工学入門 ―農業と水資源―		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
生物環境学科地域環境工学コース 泉 智揮			
地域環境工学とは、農村の生産環境および生活環境を災害対策も含め、適切に整備、管理、保全するための科学技術に関する学問です。 本講義では、農業を営む上で必要不可欠な水資源に焦点を当て、水資源をとりまく現状について概説し、農業における水資源の利用に関する技術について解説します。			
□実施校において準備して欲しいもの プロジェクター、スクリーン			

□ No. 30

講義テーマ／担当教員

地域環境工学入門―流れのシミュレーション―

生物環境学科地域環境工学コース 泉 智揮

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

地域環境工学とは、農村の生産環境および生活環境を災害対策も含め、適切に整備、管理、保全するための科学技術に関する学問です。

本講義では、農業に水資源を利用する上で重要な水の流れに関するコンピュータシミュレーションに焦点を当て、その技術について解説し、研究事例や適用事例を紹介します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 31

講義テーマ／担当教員

超学際的アプローチと地域環境知による乾燥地域における節水かんがい技術の開発

生物環境学科地域環境工学コース 久米 崇

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

乾燥地域におけるかんがい農地では、水資源の不足が大きな問題となっている。かんがい技術は、紀元前の四大文明期にはすでに用いられており、工学的にはほぼ成熟している。今後のさらなる水需要の増大には既存の工学的な技術を巧みに利用するアプローチが有効である。本講義では、超学際的アプローチと地域環境知という二つの新しい概念を用いて節水かんがい技術を開発する研究について紹介する。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン、レーザーポインター

□ No. 32

講義テーマ／担当教員

浅海域生態系の環境保全について

生物環境学科環境保全学コース 竹内 一郎

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 50人程度が望ましい。

浅海域生態系は漁業生産やレクリエーション等で利用されている重要な海域です。しかし、近年では、産業活動の発展により、埋め立てや人工化学物質の排出等の影響を受けるようになりました。本講義では、日本等の浅海域生態系の現状や環境保全の必要性を紹介します。

□ No. 33

講義テーマ／担当教員

希少魚の保全について

生物環境学科環境保全学コース 高木 基裕

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

希少種における遺伝的多様性の保全の意義について説明し、希少魚種の遺伝的多様性研究の事例をあげて基本的知識を得ることを目的とします。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 34

講義テーマ／担当教員

先端生命科学による水産養殖技術開発

生物環境学科環境保全学コース 三浦 猛

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

水産養殖は、人類へのタンパク供給システムとして、今後益々重要となつて来るものと考えられます。愛媛大学では、日本の養殖業の中核地域である愛媛県南予地方に「南予水産研究センター」を設立し、水産養殖の技術革新を目指した研究を開始しました。この講義では、南予水産研究センターの取り組みのうち、先端生命科学を用いた、新しい養殖技術の開発に関する取り組みについて解説します。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

□ No. 35

講義テーマ／担当教員

地球を創り、環境を守る微生物

沿岸環境科学研究センター 鈴木 聡

講義時間／受講人数

講義時間 50分

受講人数 制限なし

地球が生まれて46億年、最初の生命が現れたのが40億年前。最初の生命体はバクテリアでした。彼らがその後大気中の酸素をつくり、地球環境を守っています。本講義では、生命の歴史からひもとく、地球上の見えない主役である微生物のはたらきを紹介します。1ミリメートルの1,000分の1以下の微細な生命体がいかに地球環境維持に重要かが理解できるでしょう。

□実施校において準備して欲しいもの

プロジェクター、スクリーン

お問い合わせ先一覧

学 部 等	住 所	電 話 番 号
教育学生支援部 入 試 課	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-8106
法 文 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9220
教 育 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
社会共創学部	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9019
理 学 部	〒790-8577 松山市文京町2番5号	089-927-9546
医 学 部	〒791-0295 東温市志津川	089-960-5175
工 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697
農 学 部	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号	089-946-9806